

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 中津川市

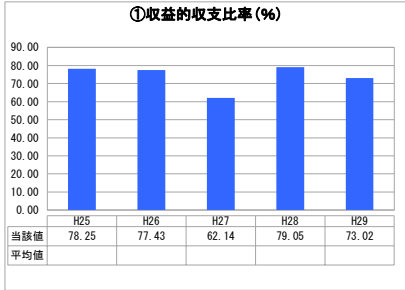
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.31	100.00	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
79,633	676.45	117.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
249	0.05	4,980.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



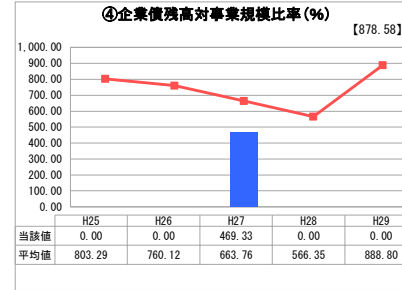
「単年度の収支」



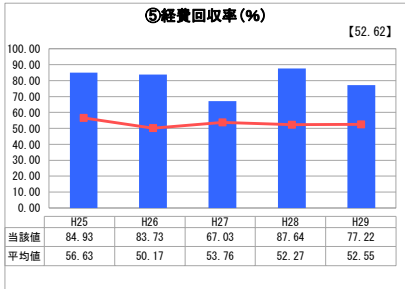
「累積欠損」



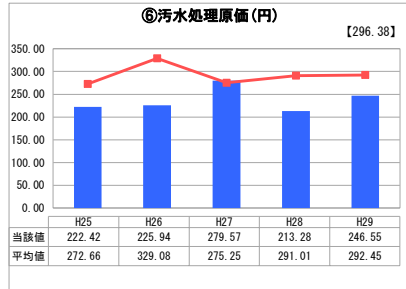
「支払能力」



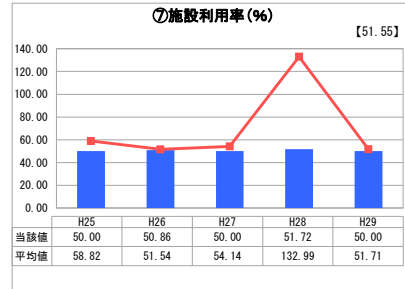
「債務残高」



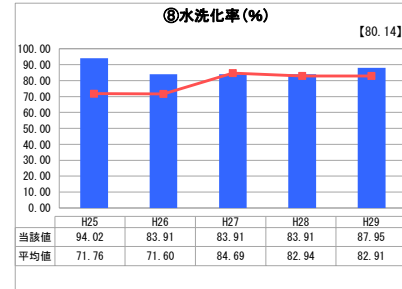
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

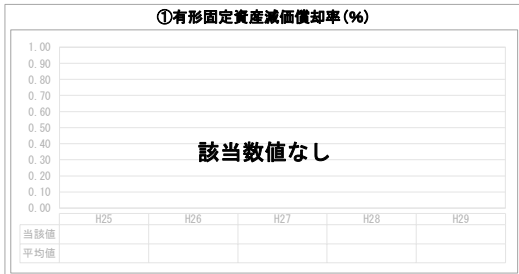


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

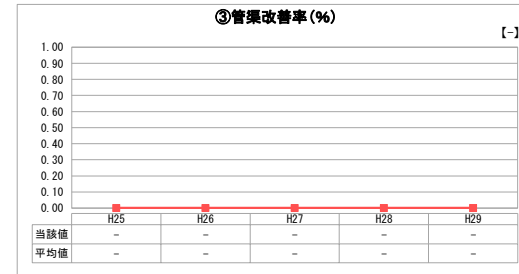
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

●収益的収支比率、企業債残高対事業規模比率
『収益的収支比率』について、主に下水道料金の定額制廃止に向けた費用の増加により低下しました。H30にはこの投資効果により比率は上向くものと思われ、今後は、処理区域内人口の低下など経営環境が厳しくなる中、H32の地方公営企業法適用に向けて準備を進め、経営基盤強化を図り、改善に努めます。
『企業債残高対事業規模比率』については、一般会計からの繰入金により企業債を全額償還したため比率が0%となりました。
●経費回収率
定額制廃止に向けた準備費用の増加によりH29は低下しました。戦略的な投資は行いつつ、経費削減なども含めて改善に努めます。
●汚水処理原価
H27以外は類似団体平均より下回っています。上記と同様の理由により汚水処理原価が低下しました。今後も引き続き合併処理浄化槽の維持管理に係る経費削減に努めていきます。
●施設利用率
過去5年間、類似団体平均値を下回っています。処理区域内人口も減少する中、構造的に低い利用率で推移していくことが見込まれます。
●水洗化率
水洗便所設置済人口より処理区域内人口の減少割合が多く水洗化率は向上しましたが、人口減少が進み、経営基盤は悪化しています。水洗化促進により改善を図ります。

2. 老朽化の状況について

老朽化率の上昇に備えて、浄化槽の計画的な維持管理を図ります。

全体総括

経営状況は、安定しているが、一般会計からの繰入金に依存しています。個別排水処理事業につきましてはH32からの地方公営企業法適用により今後の方針を検討する必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。